



茨城県龍ケ崎市 令和5年5月 定例記者会見資料【事業報告】

目標金額100万円！龍ケ崎の伝統芸能「撞舞」を応援しよう！ 撞舞クラウドファンディングを実施(6/3～)

龍ケ崎市撞舞保存会(会長:瀬尾雄三/事務局:商工観光課)では、約450年続く本市の伝統芸能「撞舞(つくまい)」を継続させるため、クラウドファンディングを令和5年6月3日(土)から実施します。

期間は6月3日(土)から7月22日(土)までの50日間で、100万円を目標達成金額とし、寄付を募ります。集まった資金は、撞舞の運営や保存・伝承に関する必要な費用に役立てます。

寄付の申し込みは、株式会社 CAMPFIRE(キャンプファイヤー)が運営するクラウドファンディングサイト上の専用ページから申し込みができます。

出資者への返礼品は、企業・団体の方は観覧席への招待や協賛企業・団体として公式うちわへ企業および団体名の記載、個人の方は1,000円以上寄付された方に、龍ケ崎コロッケまたは龍ケ崎市物産品、観覧席、まいりゅうグッズなどをリターンする予定です。

なお、本企画は、コロナ禍と撞舞保存会や地域の方々が高齢化する中、本市の伝統芸能である撞舞を途絶えることなく、後世に伝承できるように実施するものです。さらに今後、龍ケ崎市の観光PRにも発展していくよう努めていきます。

報道機関の皆さまにおかれましては、事業の周知にご協力賜りますよう、お願いいたします。

また、今年の撞舞は7月23日(日)夕刻に根町の「撞舞通り」で開催することが決まりました。

あわせて舞男(まいおとこ)による撞舞の練習を令和5年6月4日(日)から龍ケ崎市役所南側駐車場で開始します(初日は撞柱設置のため練習は設置終了後から行います)。

練習は、7月16日(日)までの毎週日曜日、午後6時頃から1時間程度行う予定です。

■撞舞の概要

約450年、地域の方により受け継がれ、龍ケ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財。高さ14メートルの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色の「たっつけ袴」に蛙の面をかぶった「舞男」と呼ばれる演者が登り、柱の上で逆立ちしたり弓を射ったりする伝統芸能です。もともとは、雨乞いや豊作祈願、疫病よけの意味があるといわれています。



▲過去の撞舞の様子

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■期間 | 令和5年6月3日(土)午前0時から7月22日(土)午後11時59分までの50日間 |
| ■主催 | 【主催】龍ケ崎市撞舞保存会 【協力】コロッケクラブ龍ケ崎/龍ケ崎市観光物産協会/龍ケ崎市 【クラウドファンディング担当】株式会社 クラウドファンディングデザイン |
| ■返礼品の内容 | 【企業・団体】観覧席への招待や公式うちわへの名入れ 【個人】龍ケ崎コロッケ、龍ケ崎市物産品、観覧席、まいりゅうグッズなど |
| ■問合せ先 | 龍ケ崎市撞舞保存会(事務局:0297-60-1536 龍ケ崎市役所商工観光課内) |
| ■資料 | ・チラシ ※公開 URL https://camp-fire.jp/projects/675184/ |

| | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|
| 担当課 | 龍ケ崎市 市民経済部 商工観光課 商工観光グループ 担当者:名島・瀧田(なじま・たきた) 連絡先:0297-60-1536(直通) |
|-----|-------------------------------------------------------------------------|